※令和４年度以降入学生用

学校番号	106

令和８年度　公民科

教科	公民	科目	倫理	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	「倫理」　（東京書籍）						
副教材等	アプローチ倫理資料　PLUS2026　（とうほう）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

「倫理」は、「正しさとは何か」や「よく生きるとはどういうことか」などといったことを問うた先人の思想や、我々の価値観の根底にある文化の成り立ちなどを学ぶ科目ですが、理解することが難しい内容もたくさんあります。しかし、じっくり向き合ってみれば、意外に今の自分の関心と重なってくるものが見つかったりもします。価値観が多様化する現代にあって、どう生きていけばいいのか。そんなことを考えるきっかけになるように取り組んでくれることを期待します。

2　学習の到達目標

人間としての在り方生き方についての見方・考え方を働かせ、現代の諸課題を追求したり解決に向けて構想したりする活動を通して、広い視野に立ち、人間尊重の精神と生命に対する畏敬の念に基づいて、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1) 古今東西の幅広い知的蓄積を通して、現代の諸課題を捉え、より深く思索するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに、諸資料から、人間としての在り方生き方に関わる情報を調べまとめる技能を身に付けるようにする。 (2) 自立した人間として他者と共によりよく生きる自己の生き方についてより深く思索する力や、現代の倫理的諸課題を解決するために倫理に関する概念や理論などを活用して、論理的に思考し、思索を深め、説明したり対話したりする力を養う。

(3) 人間としての在り方生き方に関わる事象や課題について主体的に追究したり、他者と共によりよく生きる自己を形成しようとしたりする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察やより深い思索を通して涵養される、現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚を深める。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	現代の倫理的課題を捉え、他者と共によりよく生きる人間のあり方について自己の確立の課題として考察し、選択・判断するための手がかりとなる概念や理論について理解している。 諸資料から、現代に生きる倫理的主体として活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめている。	他者と共によりよく生きる自己の確立について広く課題を発見し、人間の存在や価値、現代の倫理的課題などについて多面的・多角的に考察し、思索を深めている。 良識ある公民としての広い視野に立つことで、主体的かつ公正な判断をしている。 理解したこと、考察したことなどを適切な方法で表現している。	人間尊重の精神と生命に対する畏敬の念を高めており、人格形成や自己形成の確立に努める実践的意欲を持っている。 現代の倫理的課題についての探究的な態度を身に付け、他者と共によりよく生きる在り方を主体的に探究しようとしている。 知識及び技能を獲得したり、思考力、判断力、表現力等を身に付けたりすることに向けて粘り強い取り組みを行おうとしている。また、そのような取り組みの中で、自らの学習を調整しようとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
一学期	人間の心のあり方	人間とは何か 人間の心の働き	a:青年期の課題や心の働き、ギリシャ思想に関する事項を理解している。先人たちの思想を示す資料から、その内容を読み取ることができる。 b:教科書に提示されるいくつかのトピックについて、協働的に考察することを通して、自分なりの考えや判断を適切に表現できる。 c:よりよい社会の実現を視野に、多面的・多角的な考察をもとにして、知識や理解をより深めようとしている。	定期考査 提出物	定期考査 提出物 振り返りシート	活動の観察 提出物 振り返りシート
	さまざまな人生観・倫理感・世界観Ⅰ	哲学すること ギリシャの思想				
		宗教と社会 キリスト教 イスラーム 仏教 中国の思想 芸術	a:世界の代表的な宗教・信仰や芸術に関する事項を理解している。提示された資料から、その資料が示す問題点を適切に読み取ることができる。 b:教科書に提示されるいくつかのトピックについて、協働的に考察することを通して、自分なりの考えや判断を適切に表現できる。 c:よりよい社会の実現を視野に、多面的・多角的な考察をもとにして、知識や理解をより深めようとしている。	定期考査 提出物	定期考査 提出物 振り返りシート	活動の観察 提出物 振り返りシート
二学期	さまざまな人生観・倫理感・世界観Ⅱ	近代と人間尊重の精神 近代思想の展開 人格の尊厳人倫の思想 社会変革の思想 理性への疑念 人間観・言語観の問いなおし 他者・自然とのかかわり	a:近代以降の人間尊重の思想とその展開、現代思想の課題に関する事項を理解している。先人たちの思想を示す資料から、その内容を読み取ることができる。 b:教科書に提示されるいくつかのトピックについて、協働的に考察することを通して、自分なりの考えや判断を適切に表現できる。 c:よりよい社会の実現を視野に、多面的・多角的な考察をもとにして、知識や理解をより深めようとしている。	定期考査 提出物	定期考査 提出物 振り返りシート	活動の観察 提出物 振り返りシート

※令和４年度以降入学生用

	国際社会に生きる日本人としての自覚	日本人の精神風土 仏教と日本人の思想形成 儒教と日本人の思想形成 国学の思想 庶民の思想	a:日本人の精神風土や思想形成の経緯に関する事項を理解している。先人たちの思想を示す資料から、その内容を読み取ることができる。 b:教科書に提示されるいくつかのトピックについて、協働的に考察することを通して、自分なりの考えや判断を適切に表現できる。 c:よりよい社会の実現を視野に、多面的・多角的な考察をもとにして、知識や理解をより深めようとしている。	定期考査 提出物	定期考査 提出物 振り返りシート	活動の観察 提出物 振り返りシート
三学期	現代の諸課題と倫理	西洋思想と日本人の近代化 国際社会に生きる日本人の自覚 生命 自然 科学技術 福祉 文化と宗教 戦争と平和	a:近代以降の日本人の詩巣的課題や現代社会の諸課題に関する事項を理解している。提示された資料から、その資料が示す問題点を適切に読み取ることができる。 b:教科書に提示されるいくつかのトピックについて、協働的に考察することを通して、自分なりの考えや判断を適切に表現できる。 c:よりよい社会の実現を視野に、多面的・多角的な考察をもとにして、知識や理解をより深めようとしている。	小テスト 提出物	定期考査 提出物 振り返りシート	活動の観察 提出物 振り返りシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度